学校番号	3033

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）生活科学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	使用なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○日々の生活を科学し、積極的に取り組もう。
・「よりよく生きる」ことに積極的にチャレンジしよう。

・１年「家庭基礎」の学習したものを発展的に取り扱い、実験・実習・演習を行います。

・学習形態は、講義・演習形式・実験・実習等の多様な形態をとります。

・特に実習では、事前に学習した内容を確かめ、実践する時間である。また実習だけでなく、生活の中の些細な現象にも気を配り、生活を科学的な目で捉え、観察することで、よりよい生き方を考えるきっかけとしよう。

2　学習の到達目標

・生活の中にあるさまざまな現象に関する知識と技術を科学的に習得できるようにする。

・身近な生活の中から課題を見つけ、それらに潜む問題を解決するために、生活を科学的な目で捉え、あらゆる方面から情報を収集し、分析する能力を養う。

・実験・実習・演習を通して、机上だけでなく、実践的な力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これまで何を食べ、何を着て、どのように住んできたのか。さまざまな実験・実習を通して、調理技術、被服製作、住宅模型の設計の基本的な知識・技能を習得し、生活を科学的な目で捉える力を育む技術を身に付けている。	実験や実習、演習等、さまざまな体験を繰り返すことで、衣食住についての思考を深め、課題を見いだし、その解決をめざし適切に判断し、工夫し、日常に起こるさまざまな課題を科学的な目で探究する力を身に付けている。	衣食住についての実習を通して、主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。また調理や被服に関する実習を行うことで、多様なコミュニケーションができる人間性を育み、よりより生き方を考える姿勢を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	「食」を科学する	○「食」とは ・調理の基本 ・基本的な包丁技術 ・食品衛生(食中毒予防) ・食品添加物 ＊実習(計量の練習) ＊実習(野菜の切り方)	a:さまざまな実験・実習を通して、調理の技術の基本的な知識・技能を習得し、生活を科学的な目で捉える技術を身に付けている。 b:さまざまな体験を繰り返すことで、基本的な食についての思考を深め、課題を見いだし、その解決をめざし適切に判断し、工夫しながら、探究している。 c:食についての基本的な実習を通して、主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。また多様なコミュニケーションができる人間性を育み、よりより生き方を考える姿勢を身に付けようとしている。	授業観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 感想ｼｰﾄ	授業観察 自己評価 感想ｼｰﾄ 振りかえり
		○「食」を意識する ・調理の応用 ・食育の大切さ ・噛むことの意味 ・献立づくり、下ごしらえ ＊実習(魚の調理法) ＊実習(お弁当づくり) ＊実習(だし汁の取り方) ＊実習(アルカリ性食品)	a:さまざまな実験・実習を通して、調理の技術の応用的な知識・技能を習得し、生活を科学的な目で捉える技術を身に付けている。 b:さまざまな体験を繰り返すことで、応用的な食についての思考を深め、課題を見いだし、その解決をめざし適切に判断し、工夫しながら、探究している。 c:食についての応用的な実習を通して、主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。また多様なコミュニケーションができる人間性を育み、よりより生き方を考える姿勢を身に付けようとしている。	授業観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 感想ｼｰﾄ	授業観察 自己評価 感想ｼｰﾄ 振りかえり

		○「食」を実践する ・調理の発展 ・日本と世界の伝統食 ・エコクッキング ・防災クッキング ＊実習（災害時の調理） ＊実習（フードロスの工夫） ＊実習（市販品を手作り）	a：さまざまな実験・実習を通して、調理の技術の実践的な知識・技能を習得し、生活を科学的な目で捉える技術を身に付けている。 b：さまざまな体験を繰り返すことで、発展的な食についての思考を深め、課題を見いだし、その解決をめざし適切に判断し、工夫しながら、探究している。 c：食についての実践的な実習を通して、主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。また多様なコミュニケーションができる人間性を育み、よりより生き方を考える姿勢を身に付けようとしている。	授業観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 感想ｼｰﾄ	授業観察 自己評価 感想ｼｰﾄ 振りかえり
	「住まい」を科学する①	○「住まい」とは ・間取りとLDKの意味 ・家相と動線、寸法と色 ・ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞごとの住まい ・住宅と家族について ○家具などの配置と動線 ○住宅の設計、平面図 ・住みやすい間取り ・用途地域、斜線制限 ・建ぺい率、容積率 ＊広告から読み取る ＊平面図作成	a：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し探究している。 c：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活について関心を持ち、基本的な演習を通して、主体的に取り組み、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ

後期	「住まい」を科学する②	○住宅模型の準備 ・色のイメージ ＊模型ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ○住宅模型の制作 ＊住宅模型制作	a:模型制作を通して、住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。 b:模型制作を通して、住生活についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し探究している。 c:住生活についての実践的な演習を通して、主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。また模型制作において、多様なコミュニケーションができる人間性を育む姿勢を身に付けようとしている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 住宅模型	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 感想ｼｰﾄ	授業観察 発表 住宅模型 自己評価 他己評価 感想ｼｰﾄ
	「着る」を科学する	○「着る」とは ・個性と服装 ○色彩について ・ﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ ＊ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ ○編み物、カバンなど制作 ・柄決定と試作 ＊基本編み ・刺繍図作成と手縫い ＊刺繍の基本 ＊カバン制作	a:被服の機能と着想、被服の構成や管理、パーソナルカラーなどについて、科学的に理解し、個性を発揮し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:被服制作を通して、衣生活についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し探究している。 c:衣生活についての実践的な実習を通して、関心を持ち、意欲的で主体的に取り組み、探究する姿勢を身につけようとしている。	授業観察 作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 感想ｼｰﾄ	授業観察 感想ｼｰﾄ 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度